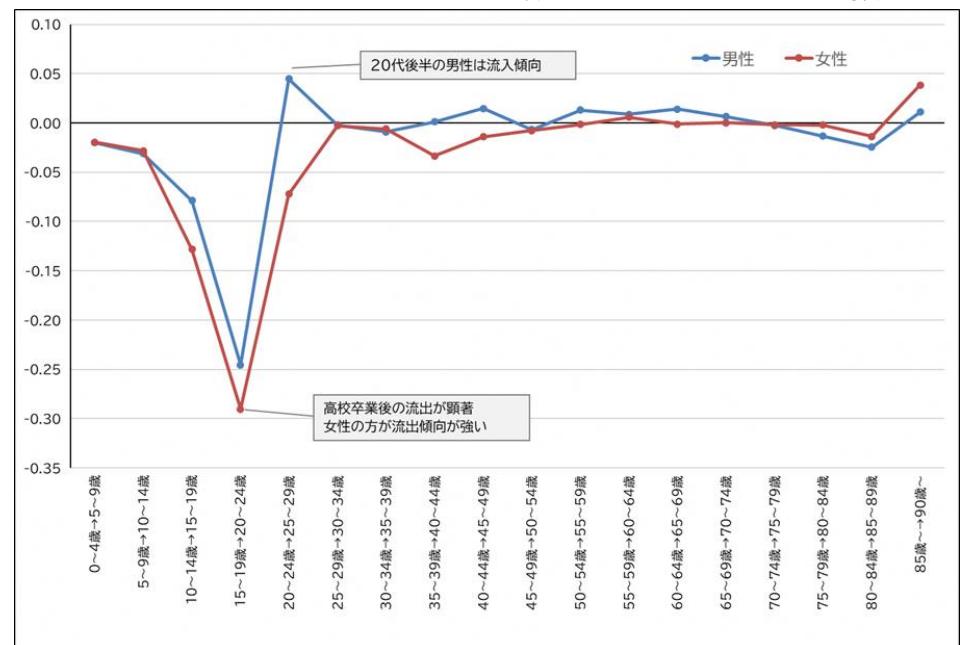


人口減少が続く事態を受け止めた上で、影響を最小限に抑えつつ社会・経済が機能する適応策を講じるため、4つの基本目標を設けた「第3期 延岡新時代創生総合戦略」を策定します。

人口動態

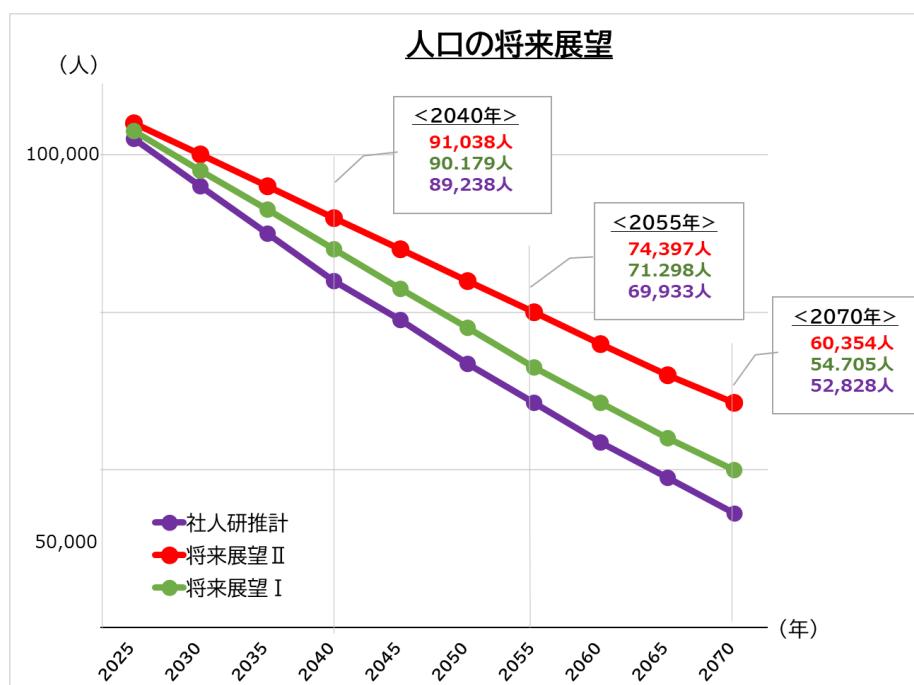
■人口の現状分析

- 1980年の約154,881人をピークに減少。2020年には約118,394人。
- 転出が転入を、死亡数が出生数を上回る状況が続く。
- 男女ともに高校卒業後の流出が顕著で、特に女性の流出傾向が強い



人口の将来展望

地方創生2.0基本構想の「人口減少が続くことを正面から受け止め、適応策を講じる。」という考え方を踏まえ、人口の将来展望として、人口流出を和らげ、若年層の結婚・出産・子育ての多様な選択と個々の希望が実現される状況を想定。



■人口の将来展望実現に向けた現状と課題

- 「やりたい仕事の見つけやすさ」が低く、収入への不満も多い。
- 未婚者の結婚したくない理由として「経済的に余裕がない(21.4%)」が挙げられている。
- 「社会全体の場」における「女性」と「若者」の活躍しやすい雰囲気は、「当てはまらない」と回答した人の割合が高い傾向

「若者」の活躍に関しては、「女性」よりも「当てはまらない」との回答が多い。

4つの基本目標



多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる



定着・回帰と新しい人の流れをつくる



出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる地域をつくる



安心な暮らしと魅力あるまちをつくる

産官学金労言等で組織される地方創生有識者会議で施策の効果検証や議論を踏まえ、毎年、PDCAサイクルに基づく効果検証を実践。施策・事業が計画的に実行されるように管理する。



4つの基本目標とKGI(9項目)

1. 多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる

指標	基準値 (R7)	目標値 (R12)
市民アンケートで「若者が活躍しやすい雰囲気がある。」という問い合わせに対して「非常に当てはまる」「ある程度当てはまる」と回答した割合	11.5%	13.8%
市民アンケートで「女性が活躍しやすい雰囲気がある。」という問い合わせに対して「非常に当てはまる」「ある程度当てはまる」と回答した割合	13%	15.6%
市民アンケートで「新たな事に挑戦・成長するための機会がある」という問い合わせに対して「非常に当てはまる」「ある程度当てはまる」と回答した割合	9.3%	11.2%

基本的方向及び具体的な施策			KPI(26項目)		
1-1 若者・女性の活躍の場の創出	① 若い世代の地元就業やUIJターン就職の創出 ② 若者・女性に選ばれる雇用環境・待遇の整備促進 ③ 若年層への教育・啓発・支援による地元就職の推進	県・市の就職説明会により地元企業への就職につながった30歳未満の人数	基準値 (R6)	8人/年	目標値 (R12) 累計56人
1-2 産業全般における担い手確保	① 農林水産業における若い担い手確保のための環境整備・支援 ② デジタル人材の需要と供給の双方が拡大する好循環の実現 ③ 個々の背景に応じた多様な働き方の実現 ④ 半導体関連の人材獲得競争の激化・人材流出の抑制	55歳未満の新規就農者数 働きやすい職場「ひなたの極」認定市内企業数(累計)	7人/年 6企業	6人/年 16企業	
1-3 既存産業の差別化と新事業創出	① 新たな産業団地の早期整備の実現 ② 新ビジネスの創出支援 ③ 医師不足に対する取組みの推進 ④ デジタル産業関連企業誘致の推進	新規創業者数 デジタル産業関連企業の誘致数(累計)	59人/年 15社	70人/年 20社	
1-4 食やスポーツなどの資源を活かした経済活性化	① 宿泊・飲食サービス分野の活性化 ② アスリートタウンのさらなる推進	大会への市外住民の参加者数	3,898人/年	5,500人/年	
2-1 地元定着とふるさと回帰につなげるための取組み	① 郷土への愛着と誇りを深める「ふるさと教育」の推進 ② 将来の市内就職につながるキャリア教育の推進 ③ 地元への定住を促進するための支援	よのなか教室実施回数 地元企業への就職につながった人数	145回 23人	累計200回 累計113人	
2-2 移住定住促進に向けた情報発信・支援の充実	① 移住希望者に響くような情報発信の推進 ② 移住者に向けた生活環境に関する支援体制の充実 ③ 移住者へのサポートとコミュニティづくり	移住者交流会実施回数 「空き家・空き店舗・跡地バンク」登録累計数	- 189戸	年間3件 240戸	
2-3 地域資源を活用した関係人口の量的拡大・質的向上	① 関係人口の可視化によるリーチ力の向上 ② 地域資源やイベントの活用による関係人口の拡大 ③ ふるさと納税寄附者等への情報発信を通じた関係人口の拡大	ふるさと住民登録制度の登録人数	-	5,000人	
3-1 若者・子育て世帯に寄り添った結婚・妊娠・出産をかなえる支援	① 結婚につながる出会いのきっかけづくり ② 子育て家庭の経済的負担の軽減 ③ 困難を抱える子どもや家庭の支援 ④ 仕事と子育ての両立支援	子ども医療費助成件数/年 保育人材の確保 放課後児童クラブの設置単位数	240,000件 10人 33単位	240,000件 15人 36単位	
3-2 産科・小児科医療	① 産科・小児科の医師や看護師の確保 ② 保護者及び医療機関の負担軽減	小児科医数 情報提供アプリ登録世帯数	計7人 5,299世帯(すぐくわうでん) 5,300世帯(のべおか子育てナビ)	計8人 5,000人	
4-1 安心・安全の地域づくりと生活機能の向上	① 災害に強い人・まちづくり ② 地域の防犯力強化 ③ 地域コミュニティによる支え合いの推進 ④ 地域公共交通ネットワークの構築 ⑤ 中山間などの地域間連携の推進 ⑥ AI・デジタル等の新技術の活用	自主防災組織数 路線バス、まちなか循環バス、コミュニティバスの年間利用者数 「交通空白」解消に向けた検討を行っているエリア	281組織 572,287人 -	299組織 705,327人 5年間に10中学校区	
4-2 まちの魅力向上とにぎわいの創出	① まちなかにぎわい創出 ② 多様な地域資源を活用した観光の活性化 ③ 広域観光の推進と情報発信の強化 ④ 県内外の市町村と連携した広域観光の振興 ⑤ インバウンドのさらなる推進 ⑥ 滞在時間の長い体験型観光・滞在型観光の推進 ⑦ 国内外に向けた効果的な観光情報発信・PRの充実	中山間地域の主要施設利用者数 行政手続き等における市民満足度	799,537人/年 44%	889,400人/年 70%	
4-3 シビックプライドの醸成	① 郷土への愛着と誇りを深める「ふるさと教育」の推進 ② 未来を担う子どもたちを育むコミュニティづくり	主要宿泊施設宿泊者数(うち外国人宿泊者数) のべおかCOIN 年間流通額	24.7万人/年(4,366人/年) 3.4億円	27.1万人/年(5,157人/年) 4.0億円	
4-4 市民の健康を増進	① 健康の保持・増進、疾病予防の実施 ② 国民健康保険・後期高齢者医療における保健事業の実施	ふるさと教育授業回数 のべおか健康マイレージアプリ登録者数	64回/年 22,869人	65回/年 28,900人	
4-5 広域連携による課題解決	① 広域連携の推進	広域で連携している事業数	35事業(R7年度)	35事業	